

7月 バアバちゃんの子育て考 NO.4



吉田緑こども園
理事長 長谷川智子

入園からもう4ヶ月。
早いですね。子ども達も随分集団の中で楽しく過ごせる様になりました。

詩人の白井明大さんが

受け入れられること、そして今度は自分たちが頼られる出番が回って来た時に受け容れること、そのどちらかが喜びです。

不馴れで心細い育児のさなかで人との関係が深まるごとに『ここにいていいんだ』と実感できるからです。

と書いていらっしゃるのを目にしました。

子どもの心に、周りの人が温かく映るのは、幸せなことなんです。特別なことでなくていい、いつも誰かが周りにいてくれると安心です。

親はみんな子どもが可愛くてとても大切に思っているのに、ちゃんとできなくてイライラしてしまう。ストレスをためて、それが子どもに伝わってしまうんですね。

そこで少しでも手助けになればと、こども園では“育じい組織”なるものを作っています。柔らかい温かい眼差しを子ども達に送って下さる組織です。コロナ禍で今、なかなか一緒に活動ができないのですが…。おじいちゃん・おばあちゃんは温かい心でゆっくり子どもを見つめて下さいます。



去年は竹とんぼを作って持って来て下さいました。



お茶の先生と学んでいます。

こんな優しい皆さんと交流します。近くでお会いになった時は声を掛けてみて下さい。人との関わりが深まりますよ。

厳しさで子どもの心が遅くなると思っているお母様方それは違います。共感や温もりの中で子どもは遅くなると思います。私たちもそんな保育を目指しています。

ほけんニュースから

とびひ

とびひ(伝染性膿痂疹)は、細菌による皮膚の感染症で、水ぶくれやかさぶたができます。接触によってうつり、火事の飛び火のように広がることから、こう呼ばれます。あせもや虫刺されなどを引っかいたり、転んだ傷に二次感染を起こしたりして発症します。また、鼻を触る癖があると、鼻の周囲からとびひが始まることもあります。

予防について

とびひを予防するためには、入浴して皮膚を清潔にし、手洗いをしっかりとさせる事が大切です。皮膚をかきむしって傷つけないようにするために、爪を短く切りましょう。また、とびひの原因になる細菌は鼻の中にたくさんいるので、鼻をいじらないように伝えます。

登園してもよい?

基本的には、**医師の診断・治療を受けてとびひの部分ガーゼや包帯できちんと覆っていれば登園することができます。**しかしとびひが多発していたり広範囲にわたっていたりする場合は、休ませる方がよいといわれています。

プールに入ってもよい?

プールや水遊びは、とびひの症状が悪化したり、友達にうつしたりする恐れがあります。そのため、完全に治るまでは禁止です。